就職面接の逆質問パート２

さてさて、就活面接の逆質問の動画がそこそこ視聴回数が稼げているようなので、パート２と題したのが今回の動画です。

よくよく考えたら、面接を受けるあなたからした逆質問の目的は会社の情報収集では無く、出来るだけ受かる可能性を上げると言う事では無いでしょうか？と前回の動画作成後反省したわけです。所詮、会社の情報なんて調べれば大抵、出てきますし、面接官の動機、インセンティブは少しでも会社を良く見せる事なんですから、まともな解答は期待できないわけです。

と言う事で、受かる可能性を１％でも上げるために大事なのは、面接官個人に対して質問をする事です。人は自分の事を話す事で、お金をもらう位の快楽を得られるわと言うデータがあるように、あなたもお金をただでもらったら、くれた人に対して好印象になりませんか？

と言う事で、面接官個人に対する質問を幾つか紹介します。

１．どうして面接官さんはこの会社に入社されたのですが？

２．この会社で働いていて一番、面白かったプロジェクト、楽しい事、辛い事、やりがいを感じる事は何ですか？

３．面接官さんはこの会社が５年後どうなっていると思いますか？

４．どのようなご経験や勉強された事が、今の面接官さんのお仕事に役に立っていると思いますか？

５．入社する前にこうしておけばよかった、こんな経験やスキルを積んでおいた方が良かったと言う事があったりしますか？

結局、面接の逆質問で大事なのは、自分のエゴを出さずに、いかに面接官を気持ちよくさせて、あなたの印象を上げる事でしょう。特に年功序列の意識が強い日本人では、年下のたかが大学生がエゴ丸出しのイキった質問をしてきたら、頭に来るでしょうから。残業は？給料は？福利厚生は？と言う独りよがりな質問は止めにして、謙虚に、好印象を持たれるように、面接官に媚びを売って行きましょう！